イノベーションマネジメント研究科
技術経営専攻

金融リスク・マネジメント

第１０講：信用リスク（4）・演習

東京工業大学イノベーションマネジメント研究科
中川　秀敏
E-mail: nakagawa@mot.titech.ac.jp
Office Hour : 17:00-18:30, every Tuesday, at W9-105

※講義資料は、講義前日の午後5時までにはアップするので事前に
http://www.craft.titech.ac.jp/~nakagawa/dir2/lecture.html#TIT2005_1
から各自でダウンロードして用意すること。

レポート問題 (2)

- 実際の大手企業の財務指標データ (企業名は非公開) を用いて、デフォルト企業と正常企業を判別する線形判別モデル (第9講資料参照) を作成せよ。
- その際にレポートでは、以下の点について明らかにすること
  - 選択した財務指標とその財務指標に対する係数
    (自分で財務指標を作成した場合は、その定義をわかりやすく書くこと)
  - 作成したモデルの誤判別率
  - 検証サンプルの企業に対するデフォルト判定
  - 特に工夫した点

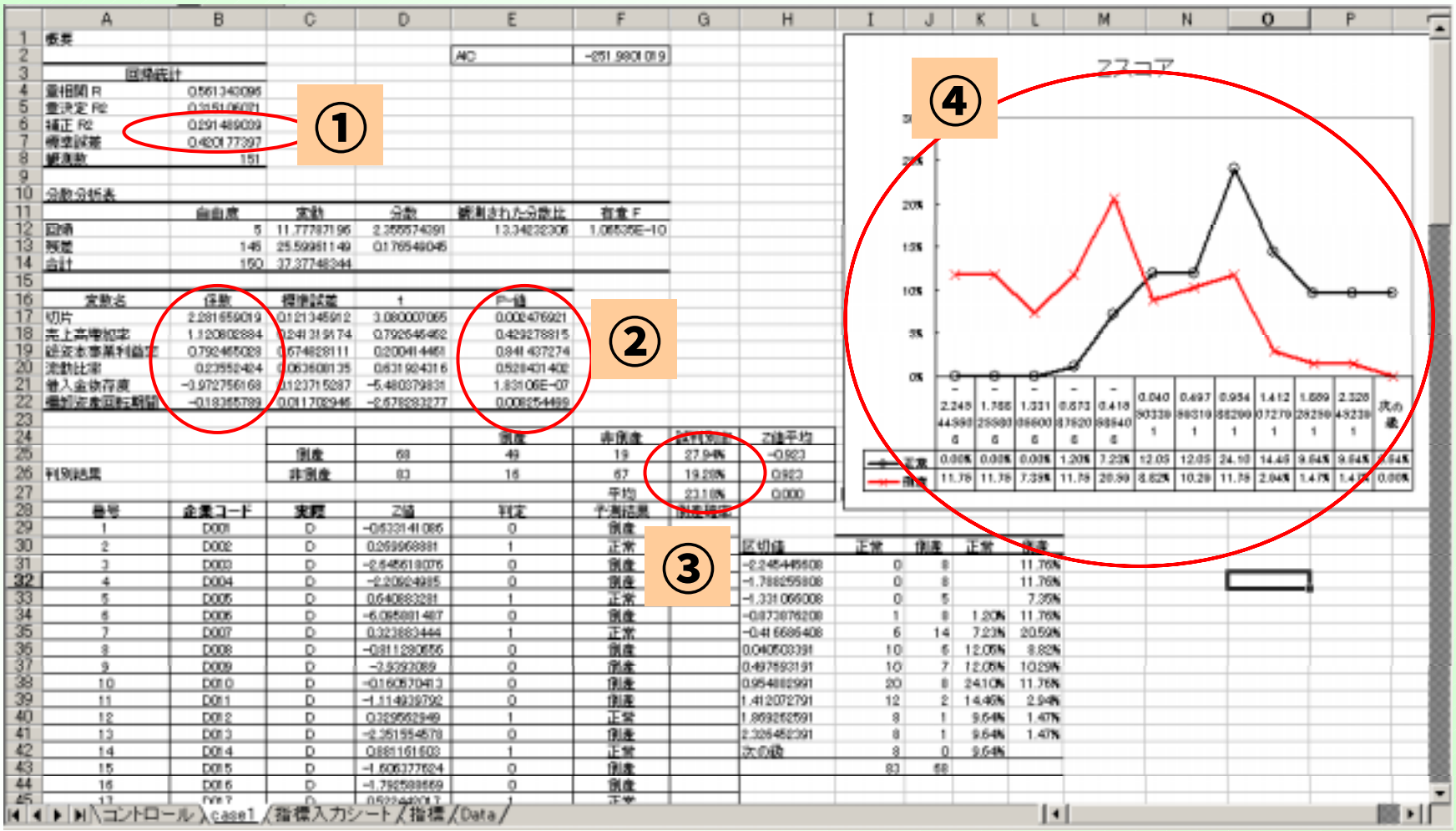
レポートのまとめ方・提出方法

- レポートは、A4サイズで8ページ以内に簡潔にまとめること
- レポートは、<u>7月29日（金）までに教務課に指定された場所に提出すること</u>

レポートの評価ポイント

- レポート自体は以下の点について評価する
  - 構成力（読みやすくまとめられているか？）
  - 論理性（自分がとった方法についての説明が論理的か？）
  - 独創性（オリジナルな視点が加えられているか？）
- 作成したモデルの財務指標のバランス
  - 選択した指標と係数の符号の関係の整合性
  - 財務指標の組み合わせにより偏りがないか？
- 作成したモデルの判別精度
  - 作成したモデルの誤判別率
  - 検証用サンプルデータに対する判別の正解率

線形判別ツールのチェックポイント



次のページを参照すること

線形判別ツールのチェックポイント

①：補正R2の値が大きい方が（重回帰分析の説明力という点で）望ましい

②：係数の符号の整合性はとれているか？P-値（係数の真の値が0である確率）は十分小さいかどうか

③：誤判別率が小さいか。また、偏りがないか→閾値補正の利用

④：グラフの形で重なり部分が少ない2つの山ができるのが理想